



**UNIVERSITY
OF
THE RYUKYUS**

**令和4年度
琉球大学公開授業案内**

琉球大学「公開授業」について

琉球大学では、生涯学習支援による人材育成・地域貢献を建学以来の使命と位置付けて様々な取り組みを行っています。

その一環として、本学学生が受講している正規の授業の一部を開放し、地域住民の皆さまに受講していただくための『公開授業』を平成14年度から実施しています。公開授業により、生涯学習に対する社会的要請に応え地域社会と大学との連携をより一層深めていくとともに、地域住民の方々と学生が共に学習することで、学生や教員にとってもよい刺激になり、授業の活性化につながることを期待されています。

また、公開授業のさらなる活性化を図るため、受講生の利便性を考慮し受講料の定額料金制度を導入しています。

この機会に、多くの方々が琉球大学に足を運ばれることを期待しています。

併せて、これまでも多くの方々に本学提供の公開授業を受講していただきましたが、平成25年度から、琉球大学サテライトキャンパスを県内6か所（※内1か所は令和2年3月に廃止）に設置し、サテライトキャンパスでのインターネットを活用した公開授業の配信を行い、島嶼地域の皆様をはじめ、多くの方々へ受講の機会を広げております。

ますます多くの方々が本学での生涯学習をお楽しみくださいますよう、また講師や他の参加者との有益なネットワークへの発展をお楽しみいただきますよう、願いを込めてご案内申し上げます。

琉球大学地域連携推進機構地域共創企画室長



1 受講手続き

【ステップ1】 公開授業申込み専用予約サイト(<http://erc11.u-ryukyu.narayun.jp/>) に会員登録を行い、希望する科目の仮申込みを行う。

- ◇ 仮申込みを行うには会員登録が必須となります。(登録費無料) 入力したメールアドレスに確認メールが届き、承認するアドレスをクリックすると登録完了です。
- ◇ 会員登録後、**申込み専用予約サイトから仮申込み**を行ってください。受付後に本学より連絡が届きます。**お電話によるお申込みは受け付けておりません。**インターネットが利用できない方は、末尾の仮申込書を直接窓口へお持ちいただくか FAXまたは郵送にてご提出ください。

公開授業申込み専用予約サイト <http://erc11.u-ryukyu.narayun.jp/>

仮申込み期間 ※ 定員に達し次第締め切ります。	前学期 3月15日(火) ~ 3月28日(月)
	後学期 9月5日(月) ~ 9月20日(火)

【ステップ2】 仮申込みをした科目の初回開講日に、**実際授業を聴講し本登録するか決める。**

- ◇ 登録は本学の学生が優先となります。学生だけで教室収容人数を超える場合は受講できないことがあります。

【ステップ3】 受講料を納付する。

- ◇ 受講料のお振込みをお願いします。なお、大学からは請求書の送付は行っていません。

受講料		条件
単価料金	各科目の概要(P6~P22)に記載しています。	◇1科目のみ受講する場合。
半期定額料金	6,880円	◇半期間(前期または後期)に、2科目以上を受講する場合。 ※半期間に何科目受講しても6,880円です。
通年定額料金	9,480円	◇通年で授業を2科目以上受講する場合。 ◇前期と後期の科目を組み合わせ、2科目以上受講する場合。 ※1年間に何科目受講しても9,480円です。

- ◇ **受講料納入後は、科目変更や定額料金の変更、払戻しはできません。**
- ◇ 受講料にテキスト代等は含まれておりません。テキストが必要な場合は担当教員の指示に従ってご自身でご用意ください。大学生協で取り扱っている場合もあります。
- ◇ 振込み手数料は受講者負担となります。**また、保険への加入を必須とする公開授業が一部ございますが、保険料につきましては別途、受益者(受講者)負担となります。(保険料は受講料の中に含まれておりません。)**

振込先銀行	琉球銀行 宜野湾支店
口座番号	普通 430384
口座名義	国立大学法人琉球大学

- ◇ 車で通学される方へは「入構許可証」を発行しますので、地域連携推進課へお申し出ください。(以前に発行された入構許可証をお持ちの方はご返却ください。)

2 受講に際して

授業について

- ◇ 授業は、週1回の計15回を基本としていますが、科目によって回数が異なる場合があります。
- ◇ **休業日、振替授業日等については、行事予定表(P21)をご確認ください。**
- ◇ 担当教員の都合により、休講や補講を行う場合があります。休講や補講の連絡については、各学部の掲示板等で周知しています。(教員によっては、メールで連絡する場合があります。)緊急の場合はできる限り電話等によりご連絡をいたしますが、行き届かない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ◇ 沖縄本島内に暴風警報又は暴風特別警報が発表されている間は、授業及び期末試験(以下「授業等」という。)を休講とします。暴風警報等の解除に伴う授業等の取扱いは次に掲げるとおりとします。
 - (1) 午前6時30分までに暴風警報等が解除された場合は、第1時限から授業等を行います。
 - (2) 午前11時までに暴風警報等が解除された場合は、第3時限から授業等を行います。
 - (3) 午後4時までに暴風警報等が解除された場合は、第6時限から授業等を行います。
 - (4) 午後4時までに暴風警報等が解除されない場合は、当日行われる予定の授業等は引き続き休講とし、期末試験を予備日に順延します。
- ◇ 公開授業は単位認定を行いませんので、原則としてレポートの提出やテスト、単位認定試験を受験する必要はありませんが、提出や受験を希望する方は担当教員とご相談ください。
- ◇ 単位認定を希望される方は「科目等履修生」制度をご利用ください。

e-Learning (Web Class) を利用する科目について

- ◇ 科目によってはインターネットを通して資料や参考文献の紹介を行ったり、諸連絡や課題提出等を行う場合がありますが、別途手続きが必要となります。

シラバス検索について

- ◇ 科目によって、資料や休講等の連絡をシラバスに掲載する場合があります。シラバスは下記URLから確認ができます。検索画面の「講義名」に受講したい科目名を入力し検索ボタンをクリックしてください。
 - 琉球大学シラバス検索URL <https://tiglon.jim.u-ryukyu.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/>
- ◇ シラバス検索においては、下記の事項にご注意ください。
 - ・ 教員によってはシラバス登録をしていない科目があります。
 - ・ 後期開講の科目については、9月以降に掲載されます。
 - ・ 本システムによる講義要項などの内容について、無断転用を禁止します。
 - ・ 科目一覧(P4~P5)にない科目については受講はできません。一覧にない科目について、シラバス検索により直接教員へ連絡をとることや受講のお問合せはご遠慮ください。

その他

- ◇ 受講にあたり、本学が行う教育及び研究に支障が及ぶことがないように努めていただくとともに、担当教員の指示に従ってください。また、受講中は携帯電話の使用を控えてください。
- ◇ 受講生が、大学の秩序を乱したり受講生としてふさわしくない行為等を行った場合、受講を停止することがあります。受講が停止された場合であっても、受講料は返還できません。
- ◇ 来学中および授業中の受講生の呼び出しには対応できません。
- ◇ 駐車スペースに限りがありますので、可能な限り公共の交通機関等をご利用ください。なお、構内で事故や盗難が起きた場合、大学側は責任を負いかねますのでご了承ください。

お問い合わせ先・公開授業担当窓口

公開授業申込み専用予約サイト <http://erc11.u-ryukyu.narayun.jp/>

■ 琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課
地域連携推進係

〒903-0213 沖縄県西原町字千原1番地 (大学本部棟1階)
TEL:098-895-8019 FAX:098-895-8185

個人情報の取り扱いについて

公開授業申込み等で取得した個人情報については、本学の個人情報管理規則に基づき適切に管理し、公開授業の運営及び公開授業に関する情報の送付以外の目的には使用いたしません。

3 サテライト配信について

琉球大学では、平成25年度文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」に琉大コミュニティキャンパス(RCC)事業が採択され、琉球大学サテライトキャンパスを那覇市、宮古島市、石垣市、久米島町、国頭村に設置し、サテライトキャンパスでの出前講座の開催や、インターネットを活用した公開授業・公開講座等の配信を行い、島嶼地域の皆様をはじめ、多くの方々へ受講の機会を広げております。



■久米島キャンパス
具志川農村環境改善センター
〒901-3124 久米島町字仲泊730番地



■国頭キャンパス
国頭村民ふれあいセンター
〒905-1411 国頭村辺土名112



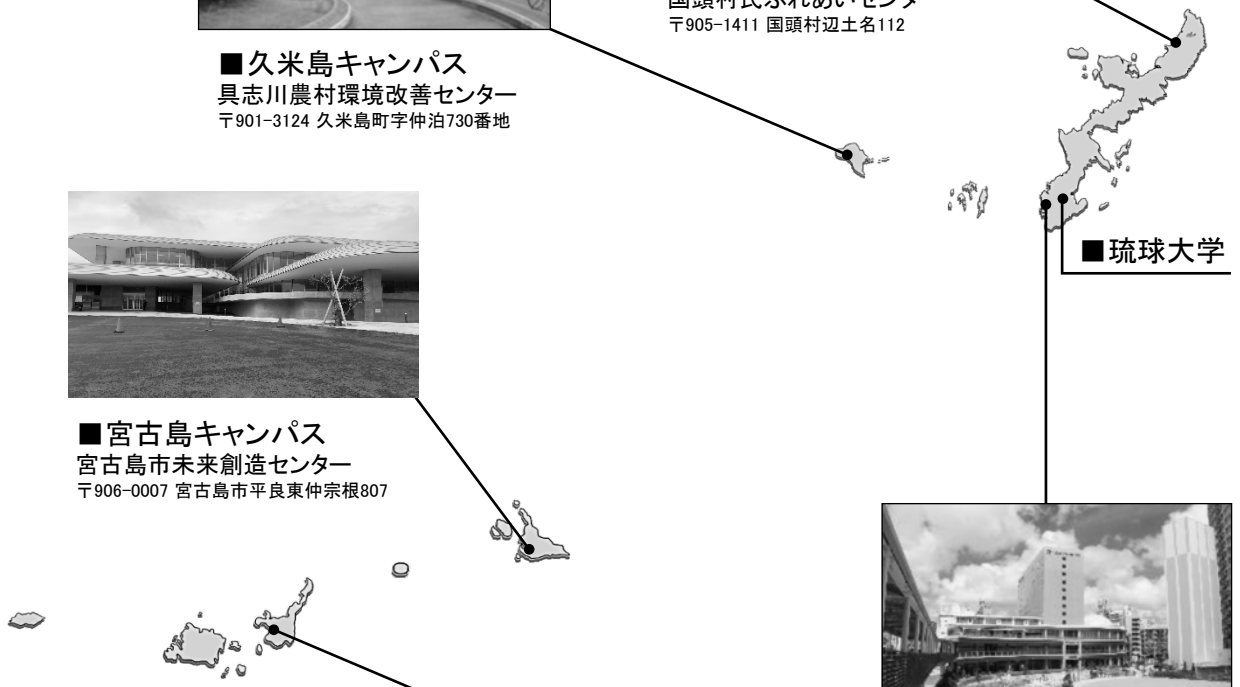
■宮古島キャンパス
宮古島市未来創造センター
〒906-0007 宮古島市平良東仲宗根807



■石垣キャンパス
石垣市立図書館
〒907-0013 石垣市浜崎町1番地の1



■那覇キャンパス
那覇市牧志駅前ほしぞら公民館
〒902-0067 那覇市安里2丁目1番地1号



■琉球大学

【 サテライトキャンパスに関するお問合せ 】

国立大学法人琉球大学 地域連携推進課
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
TEL:098-895-9058 / FAX:098-895-8185
<https://eroll.u-ryukyu.narayun.jp/>



科目一覧および各科目概要

※公開授業の曜日、時限については変更することがあります。

No.	科目種別	開講学部	授業科目名	学期	担当教員	曜日時限	頁
1	共通教育科目	人文社会学部	人間と哲学の知	前学期	久高将晃	火2	6
2	共通教育科目	人文社会学部	人間観と教育	前学期	寺石悦章	月3	6
3	共通教育科目	国際地域創造学部	フランス語会話入門 I	前学期	デルバール・フランク	火4	6
4	共通教育科目	国際地域創造学部	インテンスイブフランス語 I	前学期	デルバール・フランク、 宮里厚子	火2、金2	6
5	共通教育科目	国際地域創造学部	スペイン語入門 I	前学期	鈴木正士	水2	7
6	共通教育科目	国際地域創造学部	異文化コミュニケーション入門	前学期	高良宣孝	水7	7
7	共通教育科目	教育学部	沖縄の基地と戦跡 I	前学期	北上田 源	木5	7
8	共通教育科目	理学部	物理学入門I	前学期	安田 千寿	火2	7
9	共通教育科目	地域連携推進機構	琉大特色・地域創生特別講義Ⅸ 「星空案内人養成講座」	前学期	畑中寛・松本剛	土・午後	8
10	共通教育科目	地域連携推進機構	地域企業(自治体)お題解決プログラム	前学期	畑中寛	火	8
11	共通教育科目	地域連携推進機構	総合特別講義Ⅵ 「クラウドファンディング実践講座」	前学期	畑中寛・宮里大八	日3~5	8
12	共通教育科目	地域連携推進機構	総合特別講義Ⅶ 「ファシリテーションの技法と地域振興」	前学期	畑中寛・平井雅	土3~5	9
13	共通教育科目	地域連携推進機構	総合特別講義Ⅸ「地域円卓会議マネー ジメントの技法と実践」	前学期	畑中寛・平良斗星	土3~5	9
14	共通教育科目	グローバル教育支援機構	日本語教育各論 I	前学期	名嶋義直	木1	9
15	共通教育科目	グローバル教育支援機構	日本語教材研究 I	前学期	名嶋義直	火1	10
16	専門科目	国際地域創造学部	英米文化入門	前学期	喜納 育江、長堂 まどか	木3	10
17	専門科目	国際地域創造学部	アメリカ文学研究 I	前学期	加瀬 保子	木5	10
18	専門科目	国際地域創造学部	マーケティング実践研究	前学期	王 怡人	火6	10
19	専門科目	国際地域創造学部	広告論	前学期	王 怡人	木7	11
20	専門科目	教育学部	理科教育法A	前学期	吉田 安規良	木6	11
21	専門科目	教育学部	授業技術	前学期	吉田 安規良 他	月5	11
22	専門科目	理学部	海洋地質学	前学期	古川 雅英	月3	11
23	専門科目	理学部	物理学概論	前学期	前野 昌弘	木5	12
24	専門科目	理学部	物理数学 I	前学期	前野 昌弘	木2	12
25	専門科目	理学部	熱帯生物科学概論	前学期	中村 崇	火5	12
26	専門科目	工学部	数理計画とアルゴリズム	前学期	長山 格	水2	12
27	専門科目	農学部	森林微生物学	前学期	亀山 統一	水2	13
28	専門科目	農学部	土壌環境科学	前学期	金城 和俊	金3	13
29	専門科目	農学部	作物学	前学期	諏訪 竜一	水2	13
30	専門科目	地域連携推進機構	ICTの活用による地域課題解決	前学期	高畑明尚・畑中寛	土3~5	13
31	日本語学習科目	グローバル教育支援機構	Japanese A	前学期	MAJIMA Tomohide, 他	月、火、木、 金1~2	14
32	日本語学習科目	グローバル教育支援機構	Japanese A2	前学期	MAJIMA Tomohide, 他	月1、火3、 木3、金2	14
33	日本語学習科目	グローバル教育支援機構	Japanese Grammar A	前学期	YAMAMOTO Yoshino	火3	14
34	日本語学習科目	グローバル教育支援機構	Japanese Grammar A2	前学期	YAMAMOTO Yoshino	火2、木4	15
35	日本語学習科目	グローバル教育支援機構	日本語B1S	前学期	渡真利 聖子、元山 由 美子、真島 知秀	月1、火1、 水1、木1	15
36	日本語学習科目	グローバル教育支援機構	読解B1S	前学期	真島 知秀	火4	15

※公開授業の曜日、時限については変更することがあります。

No.	科目種別	開講学部	授業科目名	学期	担当教員	曜日時限	頁
37	共通教育科目	国際地域創造学部	フランス語会話入門Ⅱ	後学期	デルバール・フランク	火4	16
38	共通教育科目	国際地域創造学部	インテンスフランス語Ⅱ	後学期	デルバール・フランク、 宮里厚子	火2、金2	16
39	共通教育科目	国際地域創造学部	スペイン語入門Ⅱ	後学期	鈴木正士	水2	16
40	共通教育科目	国際地域創造学部	インテンススペイン語Ⅱ	後学期	福地恭子	火2、金2	16
41	共通教育科目	国際地域創造学部	現代経営のしくみ	後学期	井川浩輔	金5	17
42	共通教育科目	理学部	人間と物理学	後学期	與儀 護	水2	17
43	共通教育科目	理学部	物理学入門Ⅱ	後学期	安田 千寿	火2	17
44	共通教育科目	地域連携推進機構	教育政策史	後学期	柴田 聡史	火2	17
45	共通教育科目	地域連携推進機構	地域企業(自治体)お題解決プログラム O1組	後学期	畑中寛	火6	18
46	共通教育科目	地域連携推進機構	キャリアデザインとジェンダーⅡ	後学期	喜納育江・畑中寛	木5	18
47	共通教育科目	地域連携推進機構	琉大特色・地域創生特別講義Ⅴ 「政策立案能力強化プログラム」	後学期	島袋純・畑中寛 宮里大八	土3~5	18
48	共通教育科目	グローバル教育支援機構	大学教育論	後学期	天野智水	火2	19
49	共通教育科目	グローバル教育支援機構	日本語教育各論Ⅱ	後学期	名嶋義直	木1	19
50	共通教育科目	グローバル教育支援機構	日本語教材研究Ⅱ	後学期	名嶋義直	火1	19
51	専門科目	人文社会学部	人間の探究	後学期	寺石悦章	火4	20
52	専門科目	国際地域創造学部	異文化理解	後学期	豊島 麗子	水7	20
53	専門科目	国際地域創造学部	英米文学概論	後学期	加瀬 保子	木3	20
54	専門科目	国際地域創造学部	英語の文構造	後学期	吉本 靖	月3	21
55	専門科目	国際地域創造学部	マーケティング入門	後学期	王 怡人	火6	21
56	専門科目	国際地域創造学部	経済史入門	後学期	星野 高德	金6	21
57	専門科目	理学部	化学統計熱力学	後学期	玉城 喜章	火2	22
58	専門科目	理学部	熱帯生物生産学概論	後学期	REIMER JAMES DAVIS	火5	22
59	専門科目	工学部	確率及び統計	後学期	小野 尋子	水8:00~10:00	22
60	専門科目	農学部	森林保護学	後学期	亀山 統一	木3	22
61	専門科目	農学部	環境土壌学	後学期	金城 和俊	金1	23
62	専門科目	農学部	熱帯エネルギー作物学	後学期	諏訪 竜一	木2	23
63	専門科目	地域連携推進機構	教育の社会史	後学期	背戸 博史	火4	23
64	専門科目	地域連携推進機構	コミュニティ・プロデューサー養成講座	後学期	高畑明尚・畑中寛	土3~5	23
65	専門科目	地域連携推進機構	実践経済学Ⅴ 「ソーシャルインパクトボンド基礎概論」	後学期	高畑明尚・畑中寛	土3~5	24
66	日本語学習科目	グローバル教育支援機構	Japanese A1	後学期	MAJIMA Tomohide, 他	月2、火2、水2、 木2	24
67	日本語学習科目	グローバル教育支援機構	Japanese A	後学期	MAJIMA Tomohide, 他	月、火、木、金 1~2	24
68	日本語学習科目	グローバル教育支援機構	Japanese A2	後学期	MAJIMA Tomohide, 他	月1、火3、木3、 金2	25
69	日本語学習科目	グローバル教育支援機構	Japanese Grammar A	後学期	YAMAMOTO Yoshino	火3	25
70	日本語学習科目	グローバル教育支援機構	Japanese Grammar A2	後学期	YAMAMOTO Yoshino	火2、木4	25
71	日本語学習科目	グローバル教育支援機構	日本語B1F	後学期	渡真利 聖子、元山 由美子、真島 知秀	月1、火1、水1、 木1	26
72	日本語学習科目	グローバル教育支援機構	読解B1F	後学期	真島 知秀	火4	26
73	大学院科目	保健学研究科	緩和ケア特論	後学期	照屋 典子	木 17:10~18:40	26
74	大学院科目	保健学研究科	緩和ケア特別演習Ⅰ	後学期	照屋 典子	木 19:00~20:30	27
75	大学院科目	医学研究科	亜熱帯医学概論	未定	斉藤 美加	未定	27

【前学期】

1 人間と哲学の知		共通教育科目
■講義内容／本講義では、正義論について学びます。福祉の最大化、自由の尊重、美德の涵養という正義への三つのアプローチを紹介・検討し、正義論について理解を深めます。		
■担当教員／久高 将晃(人文社会学部 教授)	■初回授業日／4月12日	
■場所／共通教育棟2号館205教室	■曜日・時限／火曜日2限目(10:20～11:50)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールで行います。		
2 人間観と教育		共通教育科目
■講義内容／この授業では、今、世界中で注目されているシュタイナー教育を、その基盤にある人間観と関連づけながら紹介します。シュタイナー教育は20世紀の初め、第一次世界大戦後のドイツで誕生しました。やがてナチスの妨害を受けるなど困難な時期が続きましたが、第二次世界大戦は急速に世界各地に広まっています。現在、シュタイナー教育を実践する学校は世界中で1000校を超え、世界各地で非常に高い評価を受けています。 ドイツ生まれの教育ですが、地域や文化を越えて広範な支持を獲得しており、また親子3世代、4世代にわたってシュタイナー教育を受けているという人たちもいます。現代社会におけるさまざまな教育問題を解決するヒントが、たくさん隠されている教育です。		
■担当教員／寺石 悦章(人文社会学部 教授)	■初回授業日／4月18日	
■場所／共通教育棟2号館305教室	■曜日・時限／月曜日3限目(12:50～14:20)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールで行います。		
3 フランス語会話入門Ⅰ		共通教育科目
■講義内容／この授業はフランス語会話と文法の基本を身につけることを目的とします。教科書:En scene II(大学キャンパスの生協で購入できます)		
■担当教員／デルパール・フランク(国際地域創造学部 准教授)	■初回授業日／4月12日	
■場所／未定	■曜日・時限／火曜日4限目(14:40～16:10)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
■受講者への連絡方法／ ■備考／授業は対面で行われる予定ですが、事情によりオンラインで行う可能性もあります。(Microsoft Teams使用)		
4 インテンシブフランス語Ⅰ		共通教育科目
■講義内容／この授業は初級レベルのフランス語会話と文法を身につけることを目的とします。フランス語を学んだことのないか改めて最初から学びたい人向けの授業です。教科書:Flash(大学キャンパスの生協で購入可)		
■担当教員／デルパール・フランク(国際地域創造学部 准教授)、宮里 厚子(国際地域創造学部 准教授)	■初回授業日／4月12日	
■場所／火曜日:共通教育棟3号館405教室	■曜日・時限／火曜日・金曜日2時限目(10:20～11:50)	
■受講料(単価料金)／6,880円	■定員／5名	
■備考／授業は対面で行われる予定ですが、事情によりオンラインで行われる可能性もあります。(Microsoft Teams使用)		

【前学期】

5 スペイン語入門Ⅰ		共通教育科目
■講義内容／基礎スペイン語文法の初歩と簡単な会話を学ぶ。		
■担当教員／鈴木 正士(国際地域創造学部 教授)	■初回授業日／4月13日	
■場所／共通教育棟3号館204号室	■曜日・時限／水曜日・2時限目(10:20～11:50)	
■受講料／4,800円	■定員／5名	
■受講者への連絡方法／webclassで行う ■備考／対面授業で行なう予定で、ハイブリッド(対面+遠隔)は行ないません。新型コロナウイルスの関係で対面での講義が難しくなった場合はTeamsで授業を行なう予定です。		
6 異文化コミュニケーション入門		共通教育科目
■講義内容／この授業では、異文化コミュニケーションに関して、言語的・文化的側面から学び、異文化とは何か、異文化理解とは何か、異文化間でのコミュニケーションを行なう際に重要なことは何か、を学びます。		
■担当教員／高良 宣孝(国際地域創造学部 准教授)	■初回授業日／4月13日	
■場所／共通教育棟2号館205教室(予定)	■曜日・時限／水曜日7限目(19:40～21:10)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
■受講者への連絡方法／EメールまたはWebClass(登録可能なら)で行なう。 備考／対面授業で行なう予定で、ハイブリッド(対面+遠隔)は行ないません。新型コロナウイルスの関係で対面での講義が難しくなった場合はZoomで授業を行なう予定です。		
7 沖縄の基地と戦跡Ⅰ		共通教育科目
■講義内容／沖縄戦や沖縄の基地問題について、具体的なテーマに焦点を当てて学び、議論を深めることを通して、戦争・平和・軍隊などの諸問題に関して考えていくための「自分なりの視点」を見つけることを目指す授業です。		
■担当教員／北上田 源(教育学部 准教授)	■初回授業日／4月14日	
■場所／共通教育棟2号館205教室	■曜日・時限／木曜日5限目(16:20～17:50)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名(教室に余裕があれば可)	
■受講者への連絡方法／kitaueda@edu.u-ryukyu.ac.jp		
8 物理学入門Ⅰ		共通教育科目
■講義内容／「物はどのように落下するのか」、「ボールをより遠くに投げる方法とは」、「磁石は何故落ちないのか」、「バスの急停車でバランスを崩すのはなぜか」、「月はどうして地球のまわりをまわっているのか」、「フィギュアスケートでは運動量保存則を利用している」など、身の回りでふつうに起こっている現象を力学の法則から論理的に理解する方法を解説します。受講者が高校の物理を履修していないことを考慮に入れ、グラフや図を多用して力学の基礎的事項から解説します。		
■担当教員／安田 千寿(理学部 教授)	■初回授業日／4月12日	
■場所／共通教育棟2号館101教室	■曜日・時限／火曜日2限目(10:20～11:50)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。 備考／・対面講義が困難な場合、WebClassとZoomを用いた遠隔講義を実施します。 ・実施方法を学期途中で変更する可能性があります。		

【前学期】

9 琉大特色・地域創生特別講義Ⅹ (星空案内人養成講座) 共通教育科目

■講義内容／星空案内人(星のソムリエ®)は、地域で星空や宇宙の世界、またその楽しさを教えられる人である。本科目は「星空案内人資格認定制度運営機構」の認証に基づき、同機構の定める基準に基づいて開講され、修了により資格取得が可能である。

■担当教員／畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授)、 松本 剛(非常勤講師)	■初回授業日／4月16日 前学期集中講義 ※下記の曜日・時限で調整中
--	---------------------------------------

■場所／ 共通教育棟1号館118教室	■曜日・時限／土曜日 午後2～4時間 ※土曜日のうちの指定日 午後2～4時間の集中講義 (学内で行事のある日を除く。日程は調整中。シラバスを参照のこと。) 計8回
-----------------------	---

■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／40名
-------------------	---------

■受講者への連絡方法／受講登録者各位の指定メールアドレス宛連絡を行う。
■備考／講義については現在のところ教室で行う予定であるが、新型コロナウイルス感染状況を考慮の上、全部または一部を遠隔で行う場合がある。那覇・久米島・宮古・石垣・国頭サテライトキャンパスへの配信も行。実技については教室で対面で行うが、密を避けるため複数回に分けて行うことがある。

10 地域企業(自治体)お題解決プログラム 共通教育科目

■講義内容／本科目は、受講生が県内市町村(自治体)、団体、企業等が取り組んでいる課題解決を調査し、実際に課題解決に向けてグループで活動することで、これからの社会に求められる社会人基礎力を培い、キャリア観の醸成を図ることを目的とします。また、県内市町村が実際に取り組む課題解決のためのプロジェクトからテーマを選択し、ワーキンググループとして活動することで、これからの社会に求められる次世代を担うリーダーとして意識や課題発見力・課題解決力を育むことも狙いとします。

授業では、選択したプロジェクト(テーマ)に関わる自治体・企業・学校・コーディネーターなどの指導の下、課題解決等についての知識や情報を得るための座学と実践(フィールドワーク)とを組み合わせることで進め、最終的に課題解決に向けた提案を自治体のトップに対して行います。

■担当教員／畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授)	■初回授業日／4月12日
----------------------------	--------------

■場所／オンライン(Zoom)	■曜日・時限／火曜日・6限目(18:00～19:30)
-----------------	-----------------------------

■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／10名
-------------------	---------

■受講者への連絡方法／課題や休講等についての連絡は、Slackにて行う。(初回のみeメール)
■備考／・「初級地域公共政策士」資格認証科目です。
・オンライン授業(Zoom)を基本に、フィールドワーク(対面)を組み合わせた「ハイブリッド型授業」です。
・コミュニケーションツールとして「Slack」を基本とし、「Googleスライド」や「Google Jamboard」も用います。
・オンラインで高度なグループワークに取り組むため、必ずデスクトップパソコンかノートパソコンで受講してください。

11 総合特別講義Ⅵ 「クラウドファンディング実践講座」 共通教育科目

■講義内容／本講座では、地域が抱える課題を解決するため新たな資金調達の方法である「クラウドファンディング」について、商品開発やサービス提供などの事業プランニングの手法を学習します。

本講座を通じて、地域づくりに取り組むコンセプト、事業プランニング、ソーシャルメディア戦略などを、受講生一人一人が考え、実際にクラウドファンディングを立ち上げることができるようになるよう、実践的な授業を行います。

また、本講座では、専門家による講義に加え、県内にてクラウドファンディングを運営する機関、クラウドファンディングのコーディネート役割を担うキュレーターによる実践的なプロジェクトの立ち上げ方法についても学びます。県内から講師を招聘し、クラウドファンディングの成功・失敗事例、クラウドファンディングをコーディネートするキュレーターの事例を学びながら、クラウドファンディングの実践力をつけていきます。

■担当教員／畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授) 宮里 大八(非常勤講師)	■初回授業日／前学期集中講義 ※下記の曜日・時限で調整中
--	---------------------------------

■場所／オンライン(Zoom)	■曜日・時限／日曜日・3～5時限目 12:50～17:50
-----------------	-------------------------------

■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／10名
-------------------	---------

■受講者への連絡方法／課題や休講等についての連絡は、Slackにて行う。(初回のみeメール)
■備考／・「初級地域公共政策士」資格認証科目です。
・Zoomを基本とするオンライン型授業です。
・コミュニケーションツールとして「Slack」を基本とし、「Googleスライド」や「Google Jamboard」も用います。
・オンラインで高度なグループワークに取り組むため、必ずデスクトップパソコンかノートパソコンで受講してください。

【前学期】

12 総合特別講義Ⅷ 「ファシリテーションの技法と地域振興」		共通教育科目
<p>■講義内容／ファシリテーション(facilitation)とは、人々の活動が容易にできるよう支援し、うまくことが運ぶよう舵取りすること。集団による問題解決、アイデア創造、教育、学習等、あらゆる知識創造活動を支援し促進していく働きを意味します。その役割を担う人がファシリテーター(facilitator)であり、会議で言えば進行役にあたります。(日本ファシリテーション協会HPより)</p> <p>本科目では、地域振興及び地域課題解決に活かせるファシリテーションの考え方と技法について座学とグループワークを通して詳しく学修します。</p> <p>これらを通して、地域振興や地域課題解決の現場で実践できるようになるためのファシリテーション力やコミュニケーション力を身に付けることを目的とします。</p>		
■担当教員／畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授) 平井 雅(非常勤講師)	■初回授業日／前学期集中講義 ※下記の曜日・時限で調整中	
■場所／オンライン(Zoom)	■曜日・時限／土曜日・3～5時 限目12:50～17:50	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／10名	
<p>■受講者への連絡方法／課題や休講等についての連絡は、Slackにて行う(初回のみeメール)</p> <p>■備考／「初級地域公共政策士」資格認証科目です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Zoomを基本とするオンライン型授業です。 ・コミュニケーションツールとして「Slack」を基本とし、「Googleスライド」や「Google Jamboard」も用います。 ・オンラインで高度なグループワークに取り組むため、必ずデスクトップパソコンかノートパソコンで受講してください。 		
13 総合特別講義Ⅸ 「地域円卓会議マネジメントの技法と実践」		共通教育科目
<p>■講義内容／本科目では、沖縄式地域円卓会議の手法である、地域の「困り事」を、単独あるいは2者間で協議するのではなく3者以上のステークホルダー(利害関係者)で、意見交換の方法を学んでいきます。様々な事実・視点・評価・事例が提供されるため、地域の「困り事」は研ぎ澄まされ、「社会課題」へと昇華していくプロセスを知ることができます。</p> <p>また、本科目では、沖縄式地域円卓会議が取り組むテーマと参加者を決めるプロセス、当日の司会者と記録者(ファシリテーショングラフィック)による会議の運営方法を学びます。司会者が、対話を持って地域の社会課題を解きほぐし、どのように参加者の意識を「他人事から自分事(じぶんごと)」に変えていけるかのノウハウを習得します。記録者は、会議で発露された情報を構造化し、その記録は、今後の課題解決に向けてのアプローチの基礎となります。</p> <p>さらに、実際の地域円卓会議の運営現場の見学と運営補助を行うことによって、学びを深めていき、最後は地域円卓会議を創るシミュレーションワークショップを体験できる内容となっています。</p>		
■担当教員／畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授) 平良 斗星(非常勤講師)	■初回授業日／前学期集中講義 ※下記の曜日・時限で調整中	
■場所／オンライン(Zoom)	■曜日・時限／集中講義(土曜日・3～5時 限目) 12:50～17:50	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／10名	
<p>■受講者への連絡方法／課題や休講等についての連絡は、Slackにて行う(初回のみeメール)</p> <p>■備考／「初級地域公共政策士」資格認証科目です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業(Zoom)を基本に、現場体験型授業を組み合わせた「ハイブリッド型授業」です。 ・コミュニケーションツールとして「Slack」を基本とし、「Googleスライド」や「Google Jamboard」も用います。 ・オンラインで高度なグループワークに取り組むため、必ずデスクトップパソコンかノートパソコンで受講してください。 		
14 日本語教育各論Ⅰ		共通教育科目
<p>■講義内容／会話分析の観点から人間の会話行動について学ぶ授業です。日本語教育副専攻の選択必修科目であり、留学生との共修授業にもなっています。以上の理由から日本語教育に興味のある方に限定します。</p>		
■担当教員／名嶋 義直(国際教育センター 教授)	■初回授業日／4月14日	
■場所／地域国際学習センター203教室	■曜日・時限／木曜日1限目(8:30～10:00)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
<p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡は授業時に行います。欠席時は自分からEメールで問い合わせてください。</p> <p>■備考／授業形態は対面／zoom同時配信／オンデマンド録画視聴か選べます(学期中に変更可能)。琉球大学の決定により全授業がオンラインとなった場合にはZoomかオンデマンドかの2つから選んで受講となります。</p>		

【前学期】

15 日本語教材研究 I		共通教育科目
<p>■講義内容／日本語文法について自分で考え自分で規則を見出していく能力を高める授業です。日本語教育副専攻の必修科目であり、また留学生との共修授業にもなっています。以上の理由から日本語教育に興味のある方に限定します。</p>		
■担当教員／名嶋 義直(国際教育センター 教授)	■初回授業日／4月12日	
■場所／地域国際学習センター203教室	■曜日・時限／火曜日1限目(8:30～10:00)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
<p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡は授業時に行います。欠席時は自分からEメールで問い合わせてください。</p> <p>■備考／授業形態は対面／zoom同時配信／オンデマンド録画視聴か選べます(学期中に変更可能)。琉球大学の決定により全授業がオンラインとなった場合にはZoomかオンデマンドかの2つから選んで受講となります。</p>		
16 英米文化入門		専門科目
<p>■講義内容／本講義では、イギリス、アメリカ文化の諸相について理解を深めることを目的とする。特に、歴史、宗教、政治、教育などについての基本的な知識を習得し、イギリスとアメリカの文化についての理解を深める。また、その事項に関する英語資料を読むことで英語力を身につける。</p>		
■担当教員／喜納 育江(国際地域創造学部 教授)、長堂 まどか(国際地域創造学部 講師)	■初回授業日／4月14日	
■場所／人文社会学部 文講103 教室	■曜日・時限／木曜日・3限目(12:50～14:20)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
<p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。</p> <p>■備考／・感染拡大防止措置を実施した上で、対面講義を実施します。 ・対面講義が困難な場合、ZOOMを用いた遠隔講義またはオンデマンド型の遠隔講義を実施します。 ・実施方法を学期途中で変更する可能性があります。WebClassをよく確認してください。</p>		
17 アメリカ文学研究 I		専門科目
<p>■講義内容／アジア系アメリカ文学の短編小説を読みながら、文学作品の解釈を学びます。また読んだ作品について英語で自分の考えや感想を述べたり、エッセイを書くことを学びます。</p>		
■担当教員／加瀬保子(国際地域創造学部 准教授)	■初回授業日／4月14日	
■場所／文系講義棟 203A 教室	■曜日・時限／木曜日・5限目(16:20～17:50)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
<p>■受講者への連絡方法／授業開始前まではe-mail(ykase@eve.u-ryukyu.ac.jp)で授業開始後はWebClassを用いて連絡します。</p> <p>■備考／授業資料はWebClassに掲載します。少人数のクラスです。遠隔になる場合はZoomを使用します。</p>		
18 マーケティング実践研究		専門科目
<p>■講義内容／この講義では、ケーススタディを通じて、デジタル時代における企業のマーケティング戦略について勉強します。企業のデジタル・マーケティング戦略を検討する際、マーケティング活動の基本概念(4P's mixes)、ビジネスモデルやマネジメントといったものと関連しますので、他の授業で学んだ知識がここで融合されます。</p> <p>受講者は教科書に記載されている事例を予習した上、ディスカッションポイントについて講義のディスカッション時間内で議論し、自分なりの結論を見出すことを目指します。</p>		
■担当教員／王 怡人(国際地域創造学部 教授)	■初回授業日／4月12日	
■場所／人文社会学部 文講102 教室	■曜日・時限／火曜日・6限目(18:00～19:30)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
<p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。</p> <p>■備考／・感染拡大防止措置を実施した上で、対面講義を実施します。 ・対面講義が困難な場合、。公開授業は中止になります。 ・実施方法を学期途中で変更する可能性があります。WebClassをよく確認してください。</p>		

【前学期】

19 広告論		専門科目
■講義内容 ／この講義の主題は、広告宣伝に関連する諸概念の紹介と企画・制作の体験です。 企業が製品やサービスを円滑に市場で展開していくために、まず商品の存在や提供する便益を広く消費者に知らせなければなりません。それらの情報を消費者に提供するの広告は宣伝の主な内容です。 しかし、ストレートな情報内容は、場合によっては消費者に説得力を持たないかもしれません。それは競合企業が発信した情報と相殺したり、商品に対する消費者「関与度」が低かったりすることと関係するからです。この講義の前半では、広告宣伝に関する理論的側面を順次に取り上げて解説していきます。そして、広告宣伝に対する理解を踏まえて、講義の後半では実際の提案練習を行ってまいります。		
■担当教員／王 怡人(国際地域創造学部 教授)	■初回授業日／4月14日	
■場所／人文社会学部 文講103 教室	■曜日・時限／木曜日・7限目(19:40～21:00)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。 ■備考／・感染拡大防止措置を実施した上で、対面講義を実施します。 ・対面講義が困難な場合、公開授業は中止になります。 ・実施方法を学期途中で変更する可能性があります。WebClassをよく確認してください。		
20 理科教育法A		専門科目
■講義内容 ／中学校ならびに高等学校の理科授業の目的、目標、指導法と評価法ならびにそれに関連する他の事項(例:幼稚園や小学校の理科教育、自然環境教育とのつながり、社会教育、生涯教育)について概説する。		
■担当教員／吉田 安規良(教育学研究科 教授)	■初回授業日／4月14日	
■場所／教育学部校舎本館棟106教室(予定)	■曜日・時限／木曜日・6限目(18:00～19:30)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／3名程度	
■受講者への連絡方法／講義に関連する諸連絡(課題、休講)については、原則講義中に連絡します。 ■備考／正規履修学生への授業提供が遠隔になった場合は、遠隔で対応します。 本学側の都合、ゲストティーチャーの都合により、全部または一部の授業を別の曜日時限に振り替えて実施することがあります。		
21 授業技術		専門科目
■講義内容 ／内容と方法:教師として授業を担当するときに必要な技能や知識を講述する。 達成目標:教師として子どもの前に立ったとき、最低限の技能(板書、所作、指示)について理解し、それが授業の形でできるようになる。		
■担当教員／吉田 安規良(教育学研究科 教授)、森 力(教職センター 准教授)、上原 正人(教職センター 准教授)ほか	■初回授業日／4月18日	
■場所／教育学部校舎本館棟105教室(予定)	■曜日・時限／月曜日・5限目(18:00～19:30)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／3名程度	
■受講者への連絡方法／講義に関連する諸連絡(課題、休講)については、原則講義中に連絡します。 ■備考／正規履修学生への授業提供が遠隔になった場合は、遠隔で対応します。 本学側の都合、ゲストティーチャーの都合により、全部または一部の授業を別の曜日時限に振り替えて実施することがあります。		
22 海洋地質学		専門科目
■講義内容 ／地球科学や環境科学の全般を理解する上で、海域における地質の知識は不可欠である。この講義では、プレートテクトニクスの基礎を含め、海域の地質全般を理解する上で必要となる基礎的事項を解説する。		
■担当教員／古川 雅英(理学部 教授)	■初回授業日／4月16日	
■場所／理学部C114教室	■曜日・時限／月曜日・3限目(12:50～14:20)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／10名	
■受講者への連絡方法／授業時間内もしくは直前・当日の場合はEメールにて行う。 ■備考／		

23 物理学概論		専門科目
<p>■講義内容／物理学全般について概説し、物理を教えるための知識と技術を習得するための授業である。他人に教えるためには、まず自分が物理学の概念をしっかりと理解しておかななくてはならない。物理法則の意味と内容をちゃんと説明できるように理解していく。</p>		
■担当教員／前野 昌弘(理学部 准教授)	■初回授業日／4月14日	
■場所／理学部C114教室	■曜日・時限／木曜日・5限目(16:20～17:50)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／10名	
<p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。 ■備考／</p>		
24 物理数学 I		専門科目
<p>■講義内容／線形代数の基礎として、ベクトルと行列の演算、行列式および固有値と固有ベクトルの関係などについて説明する。さらに座標変換や行列を使った各種方程式の解法など、物理学や工学への応用についても講義する。</p>		
■担当教員／前野 昌弘(理学部 准教授)	■初回授業日／4月14日	
■場所／理学部C114教室	■曜日・時限／木曜日・2限目(10:20～11:50)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／10名	
<p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。 ■備考／URL:http://irobutsu.a.la9.jp/kougi/linalg2022/index.html</p>		
25 熱帯生物科学概論		専門科目
<p>■講義内容／琉球列島は我が国で唯一の亜熱帯域に位置し、本地域特有の多様な生物相を有することが特徴である。本講義では琉球列島の動植物を対象に分類学、形態学、生態学、生理学、遺伝学等様々なアプローチで研究を行っている教員がそれぞれの研究成果をふまえて熱帯・亜熱帯地域の生物相の特徴について解説する。学内では1、2年次を対象としており、これから熱帯・亜熱帯域に関する専門の学習や研究を行う上での基礎知識を修得してもらうことと、本学系生物系で行われている研究内容を紹介することも目的としている。</p>		
■担当教員／中村 崇(理学部 准教授)	■初回授業日／4月12日	
■場所／理系複合棟102教室	■曜日・時限／火曜日・5限目(16:20～17:50)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
<p>■受講者への連絡方法／講義の方法、課題、休講時等の連絡はEメールにて行う。 ■備考／・感染拡大防止措置を実施した上で、対面講義を実施します。 ・対面講義が困難な場合、ZOOMを用いた遠隔講義またはオンデマンド型の遠隔講義を実施します。 ・実施方法を学期途中で変更する可能性があります。WebClassをよく確認してください。</p>		
26 数理計画とアルゴリズム		専門科目
<p>■講義内容／本講義では、数理計画と最適化における基本的手法・理論について線形計画法、最適化理論など様々な問題を例に取りながら解説する。適宜、課題練習を実施し、数値計算パッケージを用いて実践的な問題解決能力を学ぶ。</p>		
■担当教員／長山 格(工学部 准教授)	■初回授業日／4月13日	
■場所／工学部1号館321教室、 またはZOOMで遠隔実施	■曜日・時限／水曜日・2限目(10:20～11:50)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
<p>■受講者への連絡方法／掲示または電子メールによる。 ■備考／受講希望者は必ず連絡のための電子メールアドレスを届け出ること。 ZOOMで遠隔実施する可能性が高いので十分な通信環境を準備すること。</p>		

【前学期】

27 森林微生物学		専門科目
■講義内容 ／森林やマングローブの樹木、都市の植栽木と微生物の寄生・共生関係についての知識を習得する。樹木の形態・構造や生理、菌類などの分類や形態・生活環、人間活動を含む環境条件をなす因子やその特性について学ぶ。		
■担当教員 ／亀山 統一(農学部 助教)	■初回授業日 ／4月13日	
■場所 ／農西(W)－105	■曜日・時限 ／水曜日2限目(10:20～11:50)	
■受講料(単価料金) ／4,800円	■定員 ／7名	
■受講者への連絡方法 ／メール、農学部掲示板への掲示による ■備考 ／		

28 土壌環境科学		専門科目
■講義内容 ／農業および環境分野における土壌の役割、さらに酸性土壌や赤土流出など、沖縄に分布する土壌の問題点なども紹介・解説する予定である。		
■担当教員 ／金城 和俊(農学部 准教授)	■初回授業日 ／4月15日	
■場所 ／農西(W)－104	■曜日・時限 ／金曜日3限目(12:50～14:20)	
■受講料(単価料金) ／4,800円	■定員 ／10名	
■受講者への連絡方法 ／金城和俊：wa614@agr.u-ryukyuu.ac.jp ■備考 ／基本的に対面授業を行います。遠隔授業にも対応できるようにパソコンやタブレットを必ず用意し、通信環境を整えてください。また、授業は専門用語などを使いながら進めますので、その際にもパソコンやタブレットを使用します。		

29 作物学		専門科目
■講義内容 ／作物生産に関する技術や学術的な知見から、収量を高めるための要因を考える。また、各種の環境要因と作物の成長や応答について学ぶ。		
■担当教員 ／諏訪 竜一(農学部 准教授)	■初回授業日 ／4月13日	
■場所 ／農西(W)－206	■曜日・時限 ／水曜日2限目(10:20～11:50)	
■受講料(単価料金) ／4,800円	■定員 ／10名	
■受講者への連絡方法 ／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。 ■備考 ／		

30 ICTの活用による地域課題解決		専門科目
■講義内容 ／本科目は、現代人の社会的・職業的自立に必須の基盤となる能力の一つであるInformation and Communication Technology (ICT)の基礎と応用事例を学習し、さらに、具体的な課題解決の提案書の作成を通じて、従来の考え方に囚われずに物事を前に進めていく「基礎的・汎用的能力」、その中でも特に、様々な課題を発見・分析し、適切なビジョンを描き、その課題を解決に導く「課題対応能力」を育成し、受講者の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力と態度を養成します。また、ICTの3本柱であるAI、Blockchain及びIoTを中心に各技術の基礎を理解した上で、これらを活用し、解決を行える人材を育成するため、対象分野におけるデジタル化による新しい世界観を踏まえ、課題解決に向けた提案書作成の手法を学習する総合的な内容を扱います。 具体的には、AI、Blockchain及びIoT技術内容と国内外におけるデジタル化の事例、先端技術を活用した業界ユースケースの講義を踏まえ、シビックテックやオープンデータの考え方や必要性について学び、ワークショップ形式でICTを活用した地域課題解決を検討し、企画提案書を作成します。		
■担当教員 ／高畑 明尚(国際地域創造学部 教授) 畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授)	■初回授業日 ／前学期集中講義 ※下記の曜日・時限で調整中	
■場所 ／オンライン(Zoom)	■曜日・時限 ／集中講義(土曜日・3～5時限目) 12:50 ～ 17:50	
■受講料(単価料金) ／4,800円	■定員 ／10名	
■受講者への連絡方法 ／課題や休講等についての連絡は、Slackにて行う(初回のみeメール) ■備考 ／・「初級地域公共政策士」資格認証科目です。 ・Zoomを基本とするオンライン型授業です。 ・コミュニケーションツールとして「Slack」を基本とし、「Googleスライド」や「Google Jamboard」も用います。 ・オンラインで高度なグループワークに取り組むため、必ずデスクトップパソコンかノートパソコンで受講してください。		

【前学期】

31 Japanese A		日本語学習科目
<p>■講義内容／・Intensive Japanese language course for beginners (8 classes per week) .</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Students will acquire four skills (listening, speaking, reading, writing) of Japanese learning. ・Students will start learning with Hiragana and Katakana but it is recommended to learn them by yourself beforehand. ・Reading and writing will be homework. ・Class activity will be mainly oral. ・Students must submit composition assignments after each lesson. 		
■担当教員／MAJIMA Tomohide, 他	■初回授業日／4月12日	
■場所／International Student Center 101	■曜日・時限／ Mon. Tue. Thu. Fri. ・ 1st & 2nd (8:30~11:50)	
■受講料(単価料金)／6,880円	■定員／a few	
<p>■受講者への連絡方法／email / LINE</p> <p>■備考／In the case there are a large amount of applicants, we will carefully select applicants while taking various areas of balance into consideration</p>		
32 Japanese A2		日本語学習科目
<p>■講義内容／This is a 4 period per week class which students will study elementary four skills generally. Basically practicing reading and writing are required to study at home, in class oral practice with using sentence patterns will be a main practice.</p> <p>Preparation requirement is to prepare for important words, the words list will be handed. Review is important.</p> <p>As a composition will not be able to be checked in a class time, students will be expected to find someone, who is Japanese, to check your composition. Therefore, if you cannot find somebody, you may visit teacher's office for help.</p>		
■担当教員／MAJIMA Tomohide, 他	■初回授業日／4月12日	
■場所／International Student Center 101	■曜日・時限／Mon. 1st, (8:30-10:00) Tue. 3rd, Thu. 3rd, (12:50-14:20) Fri. 2nd (10:20-11:50)	
■受講料(単価料金)／6,880円	■定員／a few	
<p>■受講者への連絡方法／email / LINE</p> <p>■備考／In the case there are a large amount of applicants, we will carefully select applicants while taking various areas of balance into consideration</p>		
33 Japanese Grammar A		日本語学習科目
<p>■講義内容／Grammar Exercise and Explanation in Japanese and English in Group</p> <p>Students are expected to be able to</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. correctly understand Basic Japanese grammar to use in daily life 【communication skill】 2. autonomously learn Japanese grammar 【autonomous learning】 3. deepen the cross cultural understanding through the cooperative learning with international students who have different cultural background. 【local and international outlook】 		
■担当教員／YAMAMOTO Yoshino	■初回授業日／4月12日	
■場所／International Student Center 203	■曜日・時限／Tue. ・ 3rd (12:50~14:20)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／a few	
<p>■受講者への連絡方法／email / LINE</p> <p>■備考／In the case there are a large amount of applicants, we will carefully select applicants while taking various areas of balance into consideration</p>		

【前学期】

34 Japanese Grammar A2

日本語学習科目

■講義内容／Students review the basic grammar of Japanese language and gain a basic ability to learn grammar autonomously after intermediate level. Students teach each other in groups in order to organize the basic grammar knowledge from new perspectives.

Students are expected to be able to

1. understand the Japanese basic grammar systematically and explain it to others【local and international outlook】
2. talk accurately using repertoires of frequently used routines and patterns associated with daily situations【communication skill】
3. get information from internet or dictionary and autonomously learn Japanese grammar【autonomous learning】【information literacy】

■担当教員／YAMAMOTO Yoshino	■初回授業日／4月12日
■場所／International Student Center 203	■曜日・時限／Tue. 2nd・Thu. 4th (1st quarter) 2nd 10:20-11:50, 4th 14:40-1610
■受講料(単価料金)／6,880円	■定員／a few
■受講者への連絡方法／email / LINE	
■備考／In the case there are a large amount of applicants, we will carefully select applicants while taking various areas of balance into consideration	

35 日本語B1S

日本語学習科目

■講義内容／主に聞く・話す活動を通して、CEFR B1レベルの基礎的な日本語力を養成する。中級前半～中級中盤レベルの日本語教科書や生の教材を使い、学んだ語彙・表現を使い自分の考えをまとめることを目標とする。

■担当教員／渡真利 聖子(講師)、元山 由美子(非常勤講師)、真島 知秀(非常勤講師)	■初回授業日／4月12日
■場所／地域国際学習センター107教室	■曜日・時限／月、火、水、木曜日1時限目 (8:30～10:00)
■受講料(単価料金)／6,880円	■定員／5名
■受講者への連絡方法／休講時の連絡はTeamsチャットにて行う。課題等の連絡はTeams内Microsoft OneNoteにて行う。	
■備考／・日本語非母語話者対象の日本語学習コース ・感染拡大防止措置を実施した上で、対面講義を実施します。 ・対面講義が困難な場合、ZOOMを用いた遠隔講義またはオンデマンド型の遠隔講義を実施します。 ・実施方法を学期途中で変更する可能性があります。Teams投稿やチャットをよく確認してください。	

36 読解B1S

日本語学習科目

■講義内容／中級レベルの読解に必要な表現および文型を確認しながら、なるべく多くの文を読みます。少し難しい表現があっても読み進めることのできる読解力を身につけます。

以下の2点の方法で読解に必要なスキルをつけます。

1. 予めテキストを与えて課題として精読してきた後、時間内に読解問題を解きます(論理的思考力の向上)。
2. 比較的短いテキストを使って授業内で初めて見る内容を速読した後、時間内に読解問題を解きます(スキミング[skimming:全体の大意を理解する]・スキヤニング[scanning:特定の情報を探し出す])。

■担当教員／真島 知秀(非常勤講師)	■初回授業日／4月12日
■場所／地域国際学習センター107教室	■曜日・時限／火曜日4時限目(14:40～16:10)
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／10名
■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。	
■備考／・日本語非母語話者対象 ・感染拡大防止措置を実施した上で、対面講義を実施します。 ・対面講義が困難な場合、ZOOMを用いた遠隔講義またはオンデマンド型の遠隔講義を実施します。 ・実施方法を学期途中で変更する可能性があります。Eメールをよく確認してください。	

【後学期】

37 フランス語会話入門Ⅱ		共通教育科目
<p>■講義内容／この授業はフランス語会話と文法の基本を身につけることを目的とします。教科書：En scene II (大学キャンパスの生協で購入できます)</p>		
■担当教員／デルパール・フランク(国際地域創造学部 准教授)	■初回授業日／10月4日	
■場所／共通教育棟3号館101教室	■曜日・時限／火曜日4限目(14:40～16:10)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
<p>■受講者への連絡方法／ ■備考／授業は対面で行われる予定ですが、事情によりオンラインで行われる可能性もあります。 (Microsoft Teams使用)</p>		
38 インテンシブフランス語Ⅱ		共通教育科目
<p>■講義内容／この授業は初級レベルのフランス語会話と文法を身につけることを目的とします。フランス語を学んだことのないか改めて最初から学びたい人向けの授業です。教科書：Flash (大学キャンパスの生協で購入可)</p>		
■担当教員／デルパール・フランク(国際地域創造学部 准教授)、宮里 厚子(国際地域創造学部 准教授)	■初回授業日／10月4日	
■場所／共通教育棟3号館405教室	■曜日・時限／火、金曜日2限目(10:20～11:50)	
■受講料(単価料金)／6,880円	■定員／5名	
<p>■受講者への連絡方法／ ■備考／授業は対面で行われる予定ですが、事情によりオンラインで行われる可能性もあります。 (Microsoft Teams使用)</p>		
39 スペイン語入門Ⅱ		共通教育科目
<p>■講義内容／スペイン語入門Ⅰのつづきをおこなう。スペイン語基礎文法を学ぶ。</p>		
■担当教員／鈴木 正士(国際地域創造学部 教授)	■初回授業日／10月5日	
■場所／共通教育棟3号館205号室	■曜日・時限／水曜日・2時限目(10:20～11:50)	
■受講料／4,800円	■定員／5名	
<p>■受講者への連絡方法／webclassで行う ■備考／本クラスはスペイン語入門Ⅰを履修した者のみ受講を認める。 対面授業で行なう予定で、ハイブリッド(対面+遠隔)は行ないません。新型コロナウイルスの関係で対面での講義が難しくなった場合はTeamsで授業を行なう予定です。</p>		
40 インテンシブスペイン語Ⅱ		共通教育科目
<p>■講義内容／スペイン語の初級レベルの「読み・書き・聞き・話す」能力を身につけることを目的とします。週2回のクラスで、火曜日は文法、金曜日は会話や発音が中心となります。</p>		
■担当教員／福地 恭子(国際地域創造学部 准教授) 上地 リリア(非常勤講師)	■初回授業日／10月4日	
■場所／共通教育棟3号館305教室	■曜日・時限／火、金曜日2限目(10:20～11:50)	
■受講料(単価料金)／6,880円	■定員／5名	
<p>■受講者への連絡方法／Eメールにて行う。 ■備考／週2回の講義です。</p>		

【後学期】

41 現代経営のしくみ		共通教育科目
■講義内容／本講義では、教科書『通勤大学文庫、図解PM コース2 プロジェクト実践編(第3版)』(総合法令出版、2018年、要購入)を用いて、プロジェクトマネジメントに関する基本的な考え方について学習します。具体的には、琉大祭(大学祭)の出し物プロジェクトの疑似マネジメントを行い、プロジェクトマネジメントに関連する複数のワークシートを実際に作成します。また、受講生が作成したワークシートを発表し、全員でその内容について議論することで、プロジェクトマネジメントの基礎知識についての理解を深めます。		
■担当教員／井川 浩輔(国際地域創造学部 准教授)	■初回授業日／10月7日	
■場所／文講114教室	■曜日・時限／金曜日5限目(16:20～17:50)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
■受講者への連絡方法／休講や課題などの連絡はメールで行います。 ■備考／感染拡大防止措置を実施した上で、対面講義授業を行う予定です。新型コロナウイルス感染症の感染が拡大した場合は、ZOOMを用いたオンライン授業を実施します。授業の実施方法などを学期の途中で変更する可能性がありますので、メールの連絡事項を必ず確認するようにしてください。		
42 人間と物理学		共通教育科目
■講義内容／この講義では物理学の発展の歴史と現代社会の関わり合いについて講義を行う。それに加えて、様々な電磁波(電波、可視光線、X線など)の性質とその応用例について、物理学と現代エレクトロニクスの関連などについても概説する。		
■担当教員／與儀 護(理学部 准教授)	■初回授業日／10月5日(予定)	
■場所／共通教育棟2号館201教室	■曜日・時限／水曜日2限目(10:20～11:50)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／10名	
■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はWebClassやEメールにて行う。 ■備考／WebClassを通して講義資料の配付を行う。 また、本講義は対面で実施するが、感染症流行などにより一部の講義をオンラインに変更する可能性もあります。		
43 物理学入門Ⅱ		共通教育科目
■講義内容／「熱と温度は違う?」、「冷蔵庫やエアコンの原理は?」、「エントロピーって何?」、「ドップラー効果とは?」、「蛍気球とは?」、「電流と磁場の関係は?電流も磁場を作る?」、「直流モーターや発電機の原理とは?」など、熱、波、電気、磁気に関する疑問を論理的に理解する方法を解説します。受講者が高校の物理を履修していないことを考慮に入れ、グラフや図を多用して、熱、波、電磁気学の基礎的事項から解説します。		
■担当教員／安田 千寿(理学部 教授)	■初回授業日／10月4日	
■場所／共通教育棟2号館101教室	■曜日・時限／火曜日2限目(10:20～11:50)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はメールにて行う。 ■備考／・対面講義が困難な場合、WebClassとZoomを用いた遠隔講義を実施します。 ・実施方法を学期途中で変更する可能性があります。		
44 教育政策史		共通教育科目
■講義内容／現在日本で進む様々な教育改革は、米国で先行する教育政策の影響を受けている。そこで、本講義では、日米の教育政策の歴史的な展開を検討し、現代の教育政策上の課題について理解を深めることを目的とする。		
■担当教員／柴田 聡史(地域連携推進機構 准教授)	■初回授業日／10月4日	
■場所／共通教育棟2号館100教室	■曜日・時限／火曜日2限目(10:20～11:50)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
■受講者への連絡方法／休講等についての連絡はEメールにて行う。 ■備考／・授業の実施方法(対面or遠隔)については今後の感染状況等により後日決定します。 ・対面授業の場合、遠隔授業(動画配信等)は実施しない可能性もあります。 ・実施方法の決定、変更についてはWebClassやメールにてお知らせします。		

【後学期】

45 地域企業(自治体)お題解決プログラム01組

共通教育科目

■講義内容／本科目は、受講生が県内市町村(自治体)、団体、企業等が取り組んでいる課題解決を調査し、実際に課題解決に向けてグループで活動することで、これからの社会に求められる社会人基礎力を培い、キャリア観の醸成を図ることを目的とします。また、県内市町村が実際に取り組む課題解決のためのプロジェクトからテーマを選択し、ワーキンググループとして活動することで、これからの社会に求められる次世代を担うリーダーとして意識や課題発見力・課題解決力を育むことも狙いとします。

授業では、選択したプロジェクト(テーマ)に関わる自治体・企業・学校・コーディネーターなどの指導の下、課題解決等についての知識や情報を得るための座学と実践(フィールドワーク)とを組み合わせ進め、最終的に課題解決に向けた提案を自治体のトップに対して行います。

■担当教員／畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授)

■初回授業日／10月4日

■場所／オンライン(Zoom)

■曜日・時限／火曜日6限目(18:00～19:30)

■受講料(単価料金)／4,800円

■定員／10名

■受講者への連絡方法／課題や休講等についての連絡は、Slackにて行う。(初回のみeメール)

■備考／「初級地域公共政策士」資格認証科目です。

・オンライン授業(Zoom)を基本に、フィールドワーク(対面)を組み合わせた「ハイブリッド型授業」です。

・コミュニケーションツールとして「Slack」を基本とし、「Googleスライド」や「Google Jamboard」も用います。

・オンラインで高度なグループワークに取り組むため、必ずデスクトップパソコンかノートパソコンで受講してください。

46 キャリアデザインとジェンダーⅡ

共通教育科目

■講義内容／本科目はキャリア形成におけるジェンダーの問題やダイバーシティ推進に関する学生の自発的な学びを促すキャリア関係科目で、キャリアデザインに関するワークショップやグループディスカッションなどを組み合わせたアクティブラーニングにより学生の理解を深めます。また、沖縄で活躍している女性講師を迎え、自らのキャリアについて、男女共同参画、ワーク・ライフ・バランス、国際化等の観点からレクチャーしていただき、学生が自らのキャリアデザインについて考える場も提供します。さらに、キャリアデザインに関する本学教員やコンサルタント等によるワークショップを踏まえ、自らのキャリアや職業観を見直す機会も提供します。

■担当教員／喜納 育江(国際地域創造学部 教授)
畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授)

■初回授業日／10月6日

■場所／オンライン(Zoom)

■曜日・時限／木曜日5限目(16:20～17:50)

■受講料(単価料金)／4,800円

■定員／10名

■受講者への連絡方法／課題や休講等についての連絡は、Slackにて行う。(初回のみeメール)

■備考／・Zoomを基本とするオンライン型授業です。

・コミュニケーションツールとして「Slack」を基本とし、「Googleスライド」や「Google Jamboard」も用います。

・オンラインで高度なグループワークに取り組むため、必ずデスクトップパソコンかノートパソコンで受講してください。

47 琉大特色・地域創生特別講義Ⅴ 「政策立案能力強化プログラム」

共通教育科目

■講義内容／本科目では、沖縄市を事例に地域活性化及び地域経営の具体的な課題を発見し、現実に即した政策立案を実際に取り組みます。地域的な課題の発見のために地域のあるべき姿については、持続可能な開発目標(SDGs)を基準として、2030年に定められた達成目標から構築していくこととします。

また、課題解決の方法についても、SDGsによって必須とされる、多様なステイクホルダーが効果的に参加する合意形成のプロセスのあり方を学習し取り組みます。

学習プロセスをすべて話し合い学習により進め、グループ共通の認識、共通の解を求め、成果を共有していき、最終的には教室全体の共通の認識と成果の共有を図っていく方法をとります。そのため、ファシリテーション・スキルの修得を重視します。さらに、PDCAマネジメントサイクルの重要性を理解し、公共政策について、目標(課題)を吟味し、基本施策や事業の達成状況を評価する能力を身に着けます。

■担当教員／島袋 純(教育学部教授)、畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授)、宮里 大八(非常勤講師)

■初回授業日／後学期集中講義
※下記の曜日・時限で調整中

■場所／オンライン(Zoom)

■曜日・時限／集中講義(土曜日・3～5時限目)
10:20～11:50

■受講料(単価料金)／4,800円

■定員／10名

■受講者への連絡方法／課題や休講等についての連絡は、Slackにて行う(初回のみeメール)

■備考／「初級地域公共政策士」資格認証科目です。

・オンライン授業(Zoom)を基本に、現地調査(対面)を組み合わせた「ハイブリッド型授業」です。

・コミュニケーションツールとして「Slack」を基本とし、「Googleスライド」や「Google Jamboard」も用います。

・オンラインで高度なグループワークに取り組むため、必ずデスクトップパソコンかノートパソコンで受講してください。

【後学期】

48 大学教育論

共通教育科目

■講義内容／ 大学ではあらゆることが考察の対象となり得ます。そして「大学」自体もその一つです。「大学」はなぜ誕生し、どのような役割を果たしてきているのか、それらは日本と諸外国で、そして時代によってどのように異なるのか、大学はどのような制度によって支えられているのか、その組織は小中高校、役所、あるいは企業と何が異なるのか、自明なことのようにも、改めて考えてみると疑問に思うことは少なくありません。そして、これらを考えることは、皆さんの今後の学生生活、さらには卒業後の学習を考えることにもつながります。

本講義では、「大学」とは何かを知ることを通じて、大学でどのような学習経験をするべきか、という課題を皆さんに考えてもらいます。

なお、この授業は担当教員によるショートレクチャーのほか、小グループに分かれた受講者同士のディスカッションに多くの時間を割いて授業を行います。

■担当教員／天野 智水(グローバル教育支援機構 准教授)

■初回授業日／10月4日

■場所／共通教育棟3号館103教室

■曜日・時限／火曜日2限目(10:20～11:50)

■受講料(単価料金)／4,800円

■定員／5名

■受講者への連絡方法／WebClass

■備考／新型コロナウイルス感染状況によっては、WEB会議システム「ZOOM」を用いて遠隔で実施します

49 日本語教育各論Ⅱ

共通教育科目

■講義内容／新聞などを読む実践を通して批判的リテラシーを高める授業です。日本語教育副専攻の選択必修科目であり、留学生との共修授業にもなっています。以上の理由から日本語教育に興味のある方に限定します。

■担当教員／名嶋 義直(グローバル教育支援機構 教授)

■初回授業日／10月6日

■場所／地域国際学習センター203教室

■曜日・時限／木曜日1限目(8:30～10:00)

■受講料(単価料金)／4,800円

■定員／5名

■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡は授業時に行います。欠席時は自分からEメールで問い合わせてください。

■備考／授業形態は対面／zoom同時配信／オンデマンド録画視聴か選べます(学期中に変更可能)。琉球大学の決定により全授業がオンラインとなった場合にはZoomかオンデマンドかの2つから選んで受講となります。

50 日本語教材研究Ⅱ

共通教育科目

■講義内容／日本語文法について自分で考え自分で規則を見出していく能力を高める授業です。日本語教育副専攻の必修科目であり、また留学生との共修授業にもなっています。以上の理由から日本語教育に興味のある方に限定します。

■担当教員／名嶋 義直(グローバル教育支援機構 教授)

■初回授業日／10月4日

■場所／地域国際学習センター203教室

■曜日・時限／火曜日1限目(8:30～10:00)

■受講料(単価料金)／4,800円

■定員／5名

■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡は授業時に行います。欠席時は自分からEメールで問い合わせてください。

■備考／授業形態は対面／zoom同時配信／オンデマンド録画視聴か選べます(学期中に変更可能)。琉球大学の決定により全授業がオンラインとなった場合にはZoomかオンデマンドかの2つから選んで受講となります。

【後学期】

51 人間の探究		専門科目
<p>■講義内容／確固たる人間観に根ざし、世界中で高い評価を受けているシュタイナー教育。このシュタイナー教育の創始者として知られるルドルフ・シュタイナーという思想家がいます。20世紀初頭にドイツ語圏を中心に、驚くほど多様な分野で活躍した思想家です。</p> <p>授業では、このルドルフ・シュタイナーの思想を手がかりに、哲学的観点から「人間とはどのような存在か」という問題について探究します。これは同時に、シュタイナー教育の基盤になっている人間観でもあります。</p> <p>深遠なテーマではありますが、一般に想像されるほど難しい内容ではありません。できるだけやさしく解説します。</p>		
■担当教員／寺石悦章(人文社会学部 教授)	■初回授業日／10月4日	
■場所／文系講義棟 新215	■曜日・時限／火曜日4限目(14:40～16:10)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
<p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。</p> <p>■備考／教室定員の半分以下の人数で、可能であれば対面授業を行います。対面授業が困難な場合、教科書、WebClassに掲載する動画や資料などを使って学ぶ形になります。</p> <p>動画の長さはさまざまです。(毎回90分というわけではありません。)あらかじめご了承ください。</p>		
52 異文化理解		専門科目
<p>■講義内容／グローバル化が加速的に進むなか、異なる文化的背景を持つ人々との平和的共存は誰にとっても重要な課題である。また、私たちはさまざまな文化に所属する個人であり、異文化接触を日常的に経験しているといえる。この授業では、文化的事象を人種・民族、階級、ジェンダー・セクシュアリティ、帝国主義・グローバリズムといった多様な視点から考察し、異文化理解を深める。さらに異文化接触ゾーンで起こる問題の原因を探り、その解決法についても議論する。教材は英語・日本語の異文化に関する資料、文学作品、映画、動画、テレビ、新聞・インターネットの記事である。授業は講義、ディスカッション及びプレゼンテーションで構成される。</p>		
■担当教員／豊島 麗子(国際地域創造学部 教授)	■初回授業日／10月5日	
■場所／共通教育棟4号館305教室	■曜日・時限／水曜日7限目(19:40～21:10)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
<p>■受講者への連絡方法／課題はウェブクラスにアップロードする。休講等の連絡はEメールで行う。</p> <p>■備考／・コロナ禍により対面授業が難しい場合は、Zoom・Teamsを用いた遠隔授業を行います。</p> <p>・コロナ禍の状況によって授業の実施方法を学期途中で変更する場合があります。</p>		
53 英米文学概論		専門科目
<p>■講義内容／英米のフィクション、詩、ドラマ、自伝、グラフィックノベルなど様々なジャンルの作品を、用いられている技巧や作家の時代背景などに着目しながら味わい、文学分析方法の基礎を学びます。講義は英語と日本語で行います。</p>		
■担当教員／加瀬 保子(国際地域創造学部 准教授)	■初回授業日／10月6日	
■場所／共通教育棟2号館100教室	■曜日・時限／木曜日3限目(12:50～14:20)	
■受講料／4,800円	■定員／5名	
<p>■受講者への連絡方法／授業開始前まではe-mail(ykase@eve.u-ryukyu.ac.jp)で授業開始後はWebClassを用いて連絡します。</p> <p>■備考／授業資料は英語と日本語の資料を用意します。大人数のクラスです。遠隔になる場合はZoomを使用します。</p>		

【後学期】

54 英語の文構造		専門科目
<p>■講義内容／人は誰でも母語の文構造について暗黙の知識を持っています。その知識はどのようなものでしょうか。この問いに答えるために生み出された理論として生成文法理論があります。この授業では生成文法理論の基礎を講義し、英語を母語とする人のもつ文構造に関する知識を科学的に分析する方法を学びます。</p> <p>生成文法による英語の分析は、英語運用能力の向上を目的とした高校までの英文法とはかなり異なります。最初は戸惑いを感じるかもしれませんが、言語学的に英語の文法を分析するとこのようになるのだということが次第に分かってくるはずです。授業では、その日の内容をハンドアウトをもとに(対面またはZoomで)説明し、適宜質疑応答を行います。その後、事後学習として練習問題をやってもらいそれを(直接またはWebClassで)提出してもらい理解を確認する、ということを繰り返します。</p>		
■担当教員／吉本 靖(国際地域創造学部 教授)	■初回授業日／10月3日	
■場所／共3-201	■曜日・時限／月曜日3限目(12:50~14:20)	
■受講料／4,800円	■定員／5名	
■受講者への連絡方法／授業開始前まではe-mailで授業開始後はWebClassを用いて連絡します。		
■備考／授業資料は英語の資料を用意します。遠隔になる場合はZoomを使用します。		
55 マーケティング入門		専門科目
<p>■講義内容／この講義の主題は、企業のマーケティング活動に関連する諸概念の紹介です。企業は自社の利益を上げるために、消費者の需要を満足させなければなりません。この目的を達成するために、どのように工夫し展開していくのか、それを考えるのがマーケティング担当者の主な仕事です。その内容を大きく分ければ、「製品」、「価格」、「販売ルート」、「販売促進」といった4つの部分があります。この講義では、この4つのテーマに沿って、事例を取り上げながら、わかりやすく解説します。</p>		
■担当教員／王 怡人(国際地域創造学部 教授)	■初回授業日／10月4日	
■場所／文講111	■曜日・時限／火曜日6限目(18:00~19:30)	
■受講料／4,800円	■定員／5名	
■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。		
■備考／・感染拡大防止措置を実施した上で、対面講義を実施します。		
・対面講義が困難な場合、公開授業は中止になります。		
・実施方法を学期途中で変更する可能性があります。WebClassをよく確認してください。		
56 経済史入門		専門科目
<p>■講義内容／本講義では、近代から高度経済成長期、安定成長期における経済政策、諸産業の発展過程を見ていくことにより、近代以降、日本経済がいかに発展したのかを説明する。その際、経済発展によってもたらされた消費生活の変化、衛生環境の悪化をはじめとした都市問題、公害問題、環境問題についても詳細に言及する。</p>		
■担当教員／星野 高德(国際地域創造学部 准教授)	■初回授業日／10月7日(諸事情により、初回はオンデマンド型の授業)	
■場所／文講201	■曜日・時限／金曜日6限目(18:00~19:30)	
■受講料／4,800円	■定員／5名	
■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。		
■備考／・感染拡大防止措置を実施した上で、対面講義を実施します。		
・第2回(10月14日)以降は、感染状況、受講人数を考慮に入れて、対面授業かオンデマンド型の遠隔授業を行う。		
・実施方法を学期途中で変更する可能性があります。WebClassとシラバスをよく確認してください。		

【後学期】

57 化学統計熱力学		専門科目
<p>■講義内容／化学熱力学では、物質を構成している分子の存在を仮定する必要なく、エンタルピーやエントロピー、ギブズエネルギー等の熱力学関数を用いて、化学反応の自発性や化学平衡を解釈します。このことを学習した人の中には、熱力学関数に個々の分子の振る舞いがどう反映されるのか知りたい、と自然に考えた人も少なくないだろうと思います。化学統計熱力学では、物質を構成する個々の分子がとりうる状態を考察してゆき、分子の振る舞いに基づいて熱力学関数を導出していきます。</p>		
■担当教員／玉城 喜章(理学部 准教授)	■初回授業日／10月4日	
■場所／理学部本館B135教室	■曜日・時限／火曜日2限目(10:20～11:50)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
<p>■受講者への連絡方法／通常の連絡は講義の際に行い、休講等の臨時的連絡はeメールで行う。 ■備考／・感染拡大防止措置を実施した上で、対面講義を実施します。 ・対面講義が困難な場合、授業は公開しません。</p>		
58 熱帯生物生産学概論		専門科目
<p>■講義内容／琉球列島は我が国で唯一の亜熱帯域に位置し、本地域特有の多様な生物相を有することが特徴である。本講義では琉球列島の水生生物(主として海産生物)に関する最新の多様な研究を紹介し、生物学における位置づけと他の応用分野との関連等について概説する。講義は海洋自然科学科生物系教員がリレー形式で担当する。学内では1、2年次を対象としており、これから熱帯・亜熱帯域に関する専門の学習や研究を行う上での基礎知識を修得してもらうことと、本学科生物系で行われている研究内容を紹介することも目的としている。</p>		
■担当教員／REIMER JAMES DAVIS (理学部 准教授)	■初回授業日／10月4日	
■場所／理系複合棟102室(定員127名)	■曜日・時限／火曜日5限目(16:20～17:50)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
<p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はWebClassでの掲示・Eメールにて行う。 ■備考／・感染拡大防止措置を実施した上で、対面講義を実施します。 ・対面講義が困難な場合、ZOOMを用いた遠隔講義またはオンデマンド型の遠隔講義を実施します。 ・実施方法を学期途中で変更する可能性があります。WebClassをよく確認してください。</p>		
59 確率及び統計		専門科目
<p>■講義内容／講義は平均や分散など、初歩的なところから始まり、修了時には統計検定2級～準1級受験レベルになります。1)ニュースなどのデータを独自に検証したい人、2)多変量解析ソフトは使うが基礎的な理論を学びなおしたい人、等</p>		
■担当教員／小野 尋子(工学部 教授)	■初回授業日／10月5日	
■場所／共通教育棟4号館505教室	<p>■曜日・時限／水曜日1限目(8:00～10:00 2H) 演習分を補講として30分追加し、8:00～10:00の開講となります。</p>	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
<p>■受講者への連絡方法／webclass を通じたメール連絡、講義用のデータの提供 ■備考／</p>		
60 森林保護学		専門科目
<p>■講義内容／樹木の病害とその流行の基礎、すなわち(1)病気とは何か、(2)樹木の形と成長・水分通道、(3)樹木が劇的に枯死する流行病、(4)カビやセンチュウなどの病原生物の特徴、(5)流行病が起こる自然的社会的条件について学ぶ。</p>		
■担当教員／亀山 統一(農学部 助教)	■初回授業日／10月6日	
■場所／農西(W)－202	■曜日・時限／木曜日3限目(12:50～14:20)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／7名	
<p>■受講者への連絡方法／メール、農学部掲示板への掲示による ■備考／</p>		

【後学期】

61 環境土壌学		専門科目
<p>■講義内容／基礎的な土壌学について解説し、農業分野および環境分野における土壌の役割についても解説する。</p>		
■担当教員／金城 和俊(農学部 准教授)	■初回授業日／10月7日	
■場所／農西(W)-104	■曜日・時限／金曜日1限目(8:30~10:00)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／10名	
<p>■受講者への連絡方法／金城和俊：wa614@agr.u-ryukyu.ac.jp ■備考／基本的に対面授業を行います。遠隔授業にも対応できるようにパソコンやタブレットを必ず用意し、通信環境を整えてください。また、授業は専門用語などを使いながら進めますので、その際にもパソコンやタブレットを使用します。</p>		
62 熱帯エネルギー作物学		専門科目
<p>■講義内容／エネルギー作物の利用や社会的な背景、このエネルギー化(バイオエタノール、セルロースのエタノール化、バイオディーゼル、直接燃焼および原料の改質、他技術等)の原理、原料となる植物についての講義を行う。</p>		
■担当教員／諏訪 竜一(農学部 准教授)	■初回授業日／10月6日	
■場所／農西(W)-104	■曜日・時限／木曜日2限目(10:20~11:50)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／10名	
<p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。 ■備考／</p>		
63 教育の社会史		専門科目
<p>■講義内容／本講義は社会史の成果をもとに、近代以前から営まれてきた次世代育成の多様な展開を確認することで、当然視されている現行の”教育”を相対化するとともに、”日本の教育”に伏在する特異な”日本性”を抽出する。</p>		
■担当教員／背戸 博史(地域連携推進機構 教授)	■初回授業日／10月4日(予定)	
■場所／文講114	■曜日・時限／火曜日4限目(14:40~16:10)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
<p>■受講者への連絡方法／課題や休講等についての連絡はメールにて行う。 ■備考／</p>		
64 コミュニティ・プロデューサー養成講座		共通教育科目
<p>■講義内容／本科目では、マルテステーキホルダーをつなぎ、地域を元気に盛り上げる能力「プロデュース能力」を高めるための実践的な内容を学習する機会を提供します。海外と県内の事例を比較検証するために、地域のコミュニティ開発が進み、移住者が全米で最も多い都市であるオレゴン州ポートランドをモデルに、県外の自治体と沖縄の自治体を対象とした課題抽出やビジョン策定などの手法を学習します。地域課題抽出のあるべき姿については、国連の持続可能な開発目標(SDGs)を基準として策定し、比較検証に取り組みます。 コミュニティのプロデューサーとして活躍されている、和歌山県の有田川町でポートランドと繋ぎ「有田川という未来 ARIDAGAWA2040」プロジェクトの仕掛け人である有井安仁氏、沖縄で最もまちづくりが注目されている沖縄市コザで街ホテルとしてデザインされたトリップショットホテルズ・コザや「まちづくりゼミ合宿」をプロデュースする島袋武志氏など多彩な外部講師による座学を実施します。また、実際に街ホテルを拠点とし、街歩きのフィールドワークやテーマごとにプロデュースされている現場を調査します。</p>		
■担当教員／高畑 明尚(国際地域創造学部 教授)、 畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授)	■初回授業日／後学期集中講義 ※下記の曜日・時限で調整中	
■場所／オンライン(Zoom)	■曜日・時限／集中講義(土曜日・3~5時限目) 12:50~17:50	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
<p>■受講者への連絡方法／課題や休講等についての連絡は、Slackにて行う。(初回のみeメール) ■備考／「初級地域公共政策士」資格認証科目です。 ・オンライン授業(Zoom)を基本に、現地実習(対面)を組み合わせた「ハイブリッド型授業」です。 ・コミュニケーションツールとして「Slack」を基本とし、「Googleスライド」や「Google Jamboard」も用います。 ・オンラインで高度なグループワークに取り組むため、必ずデスクトップパソコンかノートパソコンで受講してください。</p>		

【後学期】

65 実践経済学Ⅴ 「ソーシャル・インパクト・ボンド基礎概論」

共通教育科目

■講義内容／本科目では、社会的インパクト投資の概論を踏まえた上で、その手法の一つであるソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)について、講義とグループワークにより具体的な進め方などを実践的に学べる内容となっています。SIBとは、行政、サービス事業者、投資家など多様な関係者が連携して社会課題解決に取り組む新しい手法です。特にサービスを行っただけではなく、その結果、社会課題が解決されたかどうかを評価し、評価に連動して支払いが行われることが大きな特徴です。例えば、サービス事業者が投資家からお金を集め、効果的ながん検診受診率向上サービスを提供した結果、以前よりがん検診の受診率が向上し、早期がん患者を多く発見できたとする、がんは早期に治療することで生存率が高くなり、医療費も安くなります。こうした成果を第三者が客観的に評価し、行政とあらかじめ合意した成果を達成した場合、行政は投資家へ配当を含めて支払うことができます。これがSIBの仕組みです。一方、成果が出なければ行政からの支払いは行われません。

講義ではその基本的な仕組みや最新動向に加え、身近な社会課題をテーマとし、グループワークにより調査を進めるなど実践的なノウハウを習得できる内容となっています。これにより、複雑化する社会課題に対して、多様な関係者を巻き込みながら推進する力、社会課題を分析し、解決したかどうかを評価する力、新しい投資手法などを学び、様々な社会課題に対する力を養うことを目標とします。

■担当教員／高畑 明尚(国際地域創造学部 教授),
畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授)

■初回授業日／後学期集中講義
※下記の曜日・時限で調整中

■場所／オンライン(Zoom)

■曜日・時限／集中講義(土曜日・3～5時限目)
12:50～17:50

■受講料(単価料金)／4,800円

■定員／10名

■受講者への連絡方法／課題や休講等についての連絡は、Slackにて行う(初回のみeメール)

■備考／「初級地域公共政策士」資格認証科目です。

・Zoomを基本とするオンライン型授業です。

・コミュニケーションツールとして「Slack」を基本とし、「Googleスライド」や「Google Jamboard」も用います。

・オンラインで高度なグループワークに取り組むため、必ずデスクトップパソコンかノートパソコンで受講してください。

66 Japanese A1

日本語学習科目

■講義内容／This is the 4 times a week Japanese class to study four skills synthetically: speaking, listening, reading, and writing, of elementary level.

Check hiragana and katakana, and memorize sentence pattern. And then study following a textbook.

Basically reading and writing practice will be done at home, and oral sentence pattern practice will be done in class.

Each lesson give students a homework.

■担当教員／MAJIMA Tomohide, 他

■初回授業日／10月3日

■場所／International Student Center 107

■曜日・時限／Mon. 3rd(12:50～14:20)
Tue. Wed. Thu. 2nd(10:20～11:50)

■受講料(単価料金)／6,880円

■定員／a few

■受講者への連絡方法／email / LINE

■備考／In the case there are a large amount of applicants, we will carefully select applicants while taking various areas of balance into consideration

67 Japanese A

日本語学習科目

■講義内容／・Intensive Japanese language course for beginners (8 classes per week) .

・Students will acquire four skills (listening, speaking, reading, writing) of Japanese learning.

・Students will start learning with Hiragana and Katakana but it is recommended to learn them by yourself beforehand.

・Reading and writing will be homework.

・Class activity will be mainly oral.

・Students must submit composition assignments after each lesson.

■担当教員／MAJIMA Tomohide, 他

■初回授業日／10月3日

■場所／International Student Center 101

■曜日・時限／Mon. Tue. Thu. Fri. 1st & 2nd
(8:30～11:50)

■受講料(単価料金)／6,880円

■定員／a few

■受講者への連絡方法／email / LINE

■備考／In the case there are a large amount of applicants, we will carefully select applicants while taking various areas of balance into consideration

【後学期】

68 Japanese A2

日本語学習科目

■講義内容／This is a 4 period per week class which students will study elementary four skills generally. Basically practicing reading and writing are required to study at home, in class oral practice with using sentence patterns will be a main practice.

Preparation requirement is to prepare for important words, the words list will be handed. Review is important.

As a composition will not be able to be checked in a class time, students will be expected to find someone, who is Japanese, to check your composition. Therefore, if you cannot find somebody, you may visit teacher's office for help.

■担当教員／MAJIMA Tomohide, 他	■初回授業日／10月3日
■場所／International Student Center 101	■曜日・時限／Mon. 2nd (10:20～11:50) Tue. , Thu. 3rd(12:50～14:20) Fri. 2nd(10:20～11:50)
■受講料(単価料金)／6,880円	■定員／a few

■受講者への連絡方法／email / LINE

■備考／In the case there are a large amount of applicants, we will carefully select applicants while taking various areas of balance into consideration

69 Japanese Grammar A

日本語学習科目

■講義内容／Grammar Exercise and Explanation in Japanese and English in Group

Students are expected to be able to

1. correctly understand Basic Japanese grammar to use in daily life 【communication skill】
2. autonomously learn Japanese grammar 【autonomous learning】
3. deepen the cross cultural understanding through the cooperative learning with international students who have different cultural background. 【local and international outlook】

■担当教員／YAMAMOTO Yoshino	■初回授業日／10月4日
■場所／International Student Center 203	■曜日・時限／Tue. ・ 3rd(12:50～14:20)
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／a few

■受講者への連絡方法／email / LINE

■備考／In the case there are a large amount of applicants, we will carefully select applicants while taking various areas of balance into consideration

70 Japanese Grammar A2

日本語学習科目

■講義内容／Students review the basic grammar of Japanese language and gain a basic ability to learn grammar autonomously after intermediate level. Students teach each other In groups in order to organize the basic grammar knowledge from new perspectives.

Students are expected to be able to

1. understand the Japanese basic grammar systematically and explain it to others【local and international outlook】
2. talk accurately using repertoires of frequently used routines and patterns associated with daily situations 【communication skill】
3. get information from internet or dictionary and autonomously learn Japanese grammar【autonomous learning】 【information literacy】

■担当教員／YAMAMOTO Yoshino	■初回授業日／10月4日
■場所／International Student Center 203	■曜日・時限／Tue. 2nd ・ Thu. 4th (3rd quarter)
■受講料(単価料金)／6,880円	■定員／a few

■受講者への連絡方法／email / LINE

■備考／In the case there are a large amount of applicants, we will carefully select applicants while taking various areas of balance into consideration

【後学期】

71 日本語B1F		日本語学習科目
<p>■講義内容／主に聞く・書く活動を通して、CEFR B1レベルの基礎的な日本語力を養成する。中級前半～中級中盤レベルの日本語教科書や生の教材を使い、学んだ語彙・表現を使い自分の考えをまとめることを目標とする。</p>		
<p>■担当教員／渡真利 聖子(講師)、元山 由美子(非常勤講師)、真島 知秀(非常勤講師)</p>	<p>■初回授業日／10月3日</p>	
<p>■場所／地域国際学習センター107教室</p>	<p>■曜日・時限／月、火、水、木曜日1限目(8:30～10:00)</p>	
<p>■受講料(単価料金)／6,880円</p>	<p>■定員／5名</p>	
<p>■受講者への連絡方法／休講時の連絡はTeamsチャットにて行う。課題等の連絡はTeams内Microsoft OneNoteにて行う。</p> <p>■備考／・日本語非母語話者対象の日本語学習コース ・感染拡大防止措置を実施した上で、対面講義を実施します。 ・対面講義が困難な場合、ZOOMを用いた遠隔講義またはオンデマンド型の遠隔講義を実施します。 ・実施方法を学期途中で変更する可能性があります。Teams投稿やチャットをよく確認してください。</p>		
72 読解B1F		日本語学習科目
<p>■講義内容／中級レベルの読解に必要な表現および文型を確認しながら、なるべく多くの文を読みます。少し難しい表現があっても読み進めることのできる読解力を身につけます。以下の2点の方法で読解に必要なスキルをつけます。</p> <p>1. 予めテキストを与えて課題として精読してきた後、時間内に読解問題を解きます(論理的思考力の向上)。 2. 比較的短いテキストを使って授業内で初めて見る内容を速読した後、時間内に読解問題を解きます(スキミング[skimming:全体の大意を理解する]・スキヤニング[scanning:特定の情報を探し出す])。</p>		
<p>■担当教員／真島 知秀(非常勤講師)</p>	<p>■初回授業日／10月4日</p>	
<p>■場所／地域国際学習センター107教室</p>	<p>■曜日・時限／火曜日4限目(14:40～16:10)</p>	
<p>■受講料(単価料金)／4,800円</p>	<p>■定員／5名</p>	
<p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。</p> <p>■備考／・日本語非母語話者対象 ・感染拡大防止措置を実施した上で、対面講義を実施します。 ・対面講義が困難な場合、ZOOMを用いた遠隔講義またはオンデマンド型の遠隔講義を実施します。 ・実施方法を学期途中で変更する可能性があります。Eメールをよく確認してください。</p>		
73 緩和ケア特論		大学院科目
<p>■講義内容／この講義では、エンド・オブ・ライフの医療に携わる看護師に必須とされる知識習得のために提供している教育プログラムの日本語版(ELNEC-J)を活用し、患者、家族のトータルペイン(身体的、心理社会的、スピリチュアルな苦痛)及び様々な苦痛症状の緩和や倫理的問題の解決を目的とした看護援助方法について、教授する。また、緩和ケアが治療の初期段階から在宅医療など様々な場面において切れ目なく提供されるための知識の強化を図る。</p>		
<p>■担当教員／照屋 典子(医学部保健学研究科 教授)</p>	<p>■初回授業日／10月13日</p>	
<p>■場所／医学部保健学科棟5F517室</p>	<p>■曜日・時限／木曜日(17:10～18:40(受講生の都合により17:30～となることもある))</p>	
<p>■受講料(単価料金)／4,800円</p>	<p>■定員／5名</p>	
<p>■受講者への連絡方法／休講時や講義日程の変更、課題等の連絡はEメールにて行う。</p> <p>■備考／※本講義の受講者は、臨床経験3年以上の看護師に限る。履修は、「緩和ケア特別演習Ⅰ」と合わせて受講すること。※講義日程の詳細については、受講者と調整を行う。</p>		

【後学期】

74 緩和ケア特別演習 I		大学院科目
<p>■講義内容／ エンド・オブ・ライフの医療に携わる看護師に必須とされる知識習得のために提供している教育プログラムの日本語版(ELNEC-J)を活用し、患者、家族のトータルペイン(身体的、心理社会的、スピリチュアルな苦痛)及び様々な苦痛症状の緩和や倫理的問題の解決を目的とした看護援助方法について、具体的な演習や事例検討、グループ討議、ロールプレイ等を取り入れながら、看護実践力の強化を図る。</p>		
■担当教員／照屋 典子(医学部保健学研究科 教授)	■初回授業日／10月13日	
■場所／医学部保健学科棟5F517室	■曜日・時限／木曜日(19:00～20:30)	
■受講料(単価料金)／4,800円	■定員／5名	
<p>■受講者への連絡方法／休講時や講義日程の変更、課題等の連絡はEメールにて行う。 ■備考／※本講義の受講者は、臨床経験3年以上の看護師に限る。履修は、「緩和ケア特論」と合わせて受講すること。 ※講義日程の詳細については、受講者と調整を行う。</p>		
75 亜熱帯医学概論		大学院科目
<p>■講義内容／21世紀は感染症の時代である。八重山では米軍統治下、行政と住民の連携により、1962年マラリアは排除された。授業では、八重山のマラリア対策の歴史を概観し、感染症時代を生き抜くための教訓を考察する。</p>		
■担当教員／斉藤 美加(医学部医学研究科 助教)	■初回授業日／未定	
■場所／未定	■曜日・時限／未定	
■受講料(単価料金)／2,720円	■定員／10名	
<p>■受講者への連絡方法／教務と相談 ■備考／</p>		

5 令和4年度 年間行事予定表

実施日	予定行事
4月	3月14日～3月25日(金) 公開授業 前学期科目 仮申し込み期間 4月5日(火) 入学式 4月12日(火) 授業開始(前学期/第1クォーター)
5月	5月22日(日) 開学記念日 5月28日(土) 体育祭
6月	6月10日(金) 授業終了(第1クォーター)※1 6月13日(月) 授業開始(第2クォーター) 6月23日(木) 慰霊の日(休講)
7月	7月17日(日) 琉球大学説明会(オープンキャンパス) 授業終了(前学期/第2クォーター)
8月	8月12日(金)、8月15日(月) 予備日 ※2 8月17日(水)～9月30日(金) 夏季休業
9月	9月24日(土)～9月25日(日) 琉大祭 9月12日(月)～9月23日(金) 公開授業 後学期科目 仮申し込み期間
10月	10月1日(土) 後学期開始 10月3日(月) 授業開始(後学期/第3クォーター)
11月	11月29日(火) 授業開始(第4クォーター)
12月	12月1日(木) 授業終了(第3クォーター) 12月7日(水) 学校推薦型選抜等(休講) 12月24日(土)～1月3日(火) 冬季休業
1月	1月4日(水) 授業開始 1月10日(火) 月曜日授業振替 1月13日(金) 大学入学共通テスト準備(休講) 1月14日(土)～1月15日(日) 大学入学共通テスト
2月	2月10日(金) 2月13日(月) 予備日 ※2 授業終了(後学期/第4クォーター) 2月15日(水)～3月31日(金) 春季休業 2月25日(土)～2月26日(日) 一般選抜(前期)
3月	3月12日(日) 一般選抜(後期) 3月23日(木) 卒業式

※1:クォーターとは、前学期と後学期のそれぞれ前半と後半に、8週(試験を含む)で授業を行う期間のことです。

※2:予備日は、台風等で全学休講になった日の授業または定期試験を行います。

公開授業申し込み専用予約サイト <http://erc11.u-ryukyu.narayun.jp/>

仮申し込み期間	前学期 3月15日(火) ～ 3月28日(月)
	後学期 9月5日(月) ～ 9月20日(火)

○科目一覧にない科目については受講を受け付けておりません。

○各科目毎に定員に達し次第締め切ります。

○仮申し込みを行っていない科目については本登録ができない場合があります。

○仮申し込み後、本学より受け付け完了の連絡がない場合は下記窓口までお問合せください。

○希望する科目について、追加・キャンセル・変更等が生じた場合は下記窓口までご連絡ください。

【担当窓口】琉球大学 地域連携推進課 〒903-0213 沖縄県西原町字千原一番地(大学本部棟1階)

Tel:098-895-8019 Fax:098-895-8185

令和4年度 琉球大学公開授業仮申込書

インターネットが利用できる方は、下記サイトより仮申込みを行って下さい。

公開授業申込み専用予約サイト <http://ercll.u-ryukyu.narayun.jp/>

(申込日 令和 年 月 日)

ふりがな		
氏 名	年 齢 () 性 別 (男・女)	
住 所	〒 -	
電話番号	(自 宅)	(携 帯)
メールアドレス		
職業(任意)		
受講を希望する 授業科目名	授業番号	科 目 名

- ※ 科目一覧にない科目については受講を受け付けておりません。
- ※ 各科目毎に定員に達し次第締め切ります。
- ※ 仮申込み後、本学より受付完了の連絡がない場合は下記窓口までお問合せください。
- ※ 仮申込みを行っていない科目については本登録ができない場合があります。
- ※ 希望する科目について、追加・キャンセル・変更等が生じた場合は下記窓口までご連絡ください。

【仮申込み期間】 前学期： **3月15日(月)～3月28日(月)**

後学期： **9月5日(月)～9月20日(火)**

【受付完了通知】 仮申込み受け付け完了後、本学担当者よりご連絡をいたします。

【 問合せ窓口 】 琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課

〒903-213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 (大学本部棟1階)
Tel : 098-895-8019 (平日8:30~17:15) Fax : 098-895-8185

【個人情報について】

公開授業申込み等で取得した個人情報については、本学の個人情報管理規則に基づき適切に管理し、公開授業の運営及び公開授業に関する情報の送付以外の目的には使用いたしません。



琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

大学側記入欄

受付日時	受付担当	備 考

キャンパスマップ



A 大学本部棟



C 共通教育棟



B 全保連ステーション (大学会館)

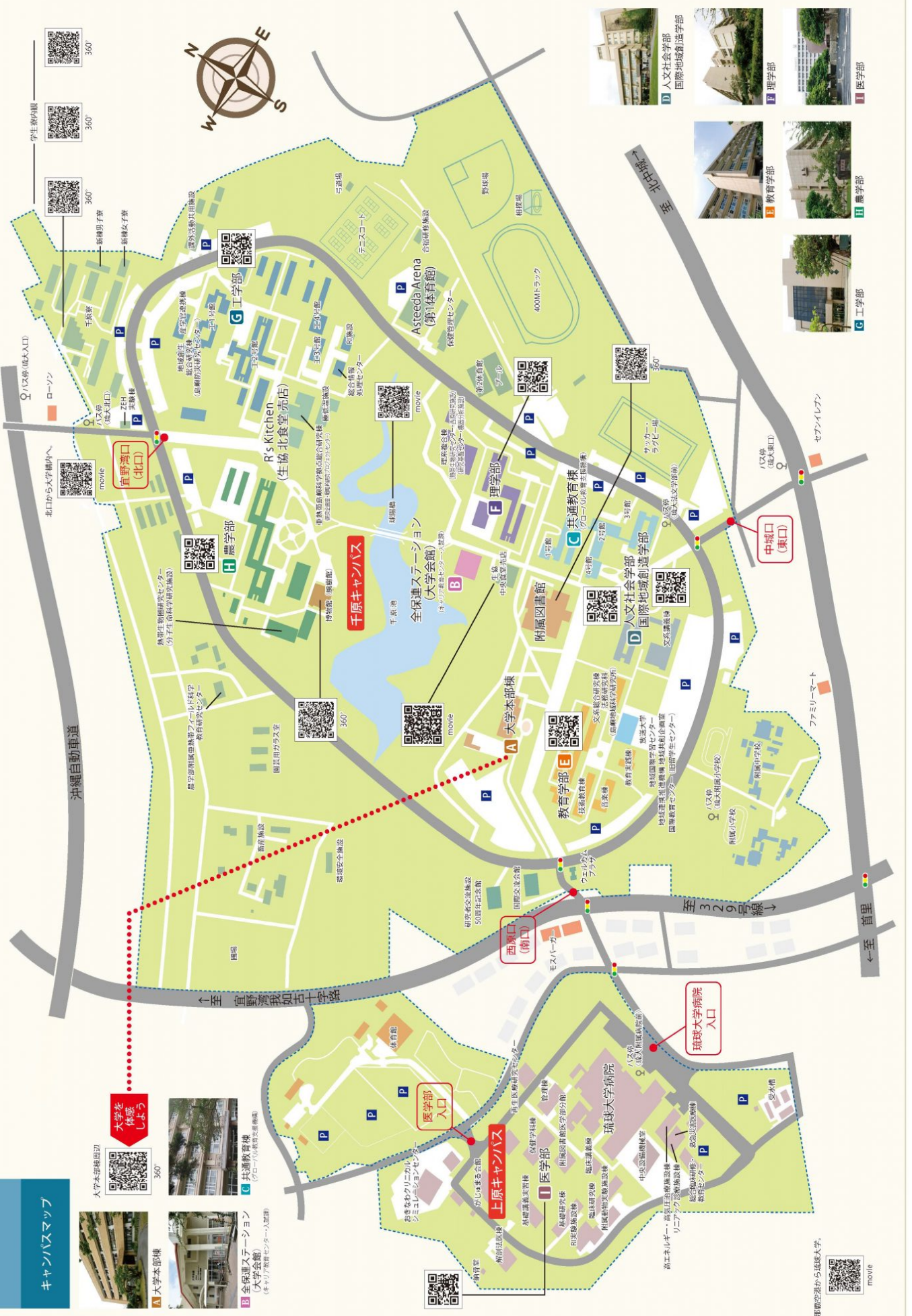
(キアリー教育センター・入館時)



D 大学本部棟周辺

大学を体感しよう

360°



那覇空港から琉球大学。



movie



D 国際地域創造学部

F 医学部

I 人文社会学部



E 教育学部

H 農学部



C エ工学部